

第2章 ゆりかごの預け入れ状況とその背景

1 ゆりかごの預け入れ状況と背景

第5期（平成29年4月1日から令和2年3月31日まで）の3年間の預け入れ状況は以下のとおりである。なお、この項では第5期の預け入れ状況について客観的な事実の記載に留め、第1期から第4期までとの比較に基づく第5期の特徴については、「2 ゆりかごの預け入れ状況の特徴」で述べるものとする。

なお、各項目の構成割合は小数点以下第2位を四捨五入しているため、図表に示す構成割合の合計は必ずしも100%にならない場合がある。

（1）預け入れ時の状況

ア 預け入れられた子どもの人数および頻度

第5期の3年間に、合計25人の子どもの預け入れがあった。年度ごとの内訳は、平成29年度7人、平成30年度7人、令和元年度11人である。

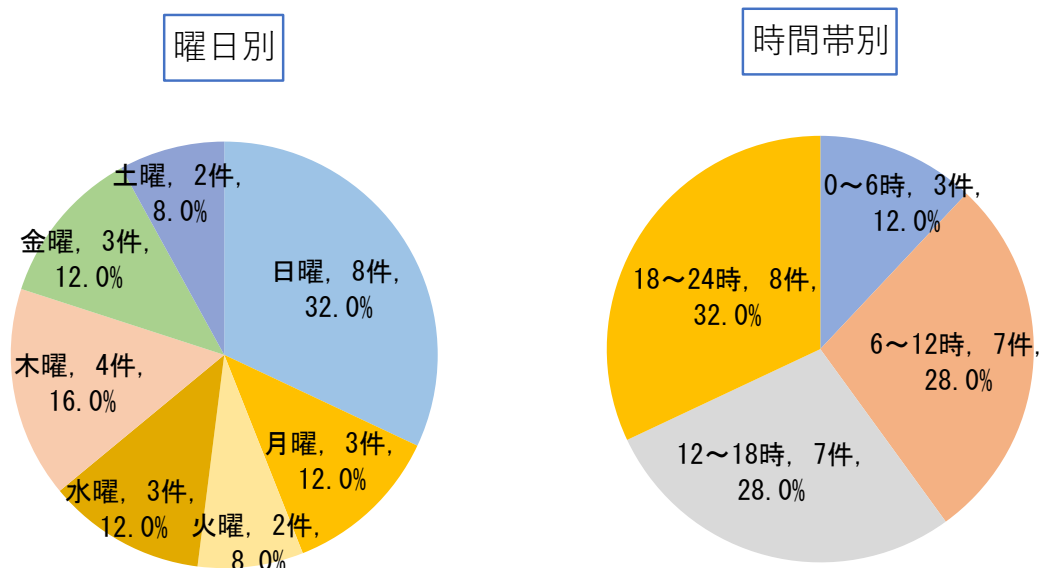
この期間では1か月約0.69人のペースでの預け入れになる。1か月単位でみた場合、預け入れられた子どもの人数が最も多い月は1か月に2人である。

イ 子どもが預け入れられた曜日と時間帯（【図2-1】【図2-2】【表2-1】参照）

子どもが預け入れられた曜日について、25件のうち、32.0%にあたる8件が日曜日に預けられている。また、時間帯は、18時から24時までが8件と全体の32.0%を占め、次いで6時から12時、12時から18時の時間帯がいずれも7件で28.0%となっている。

【図2-1】

【図2-2】



【表2-1】

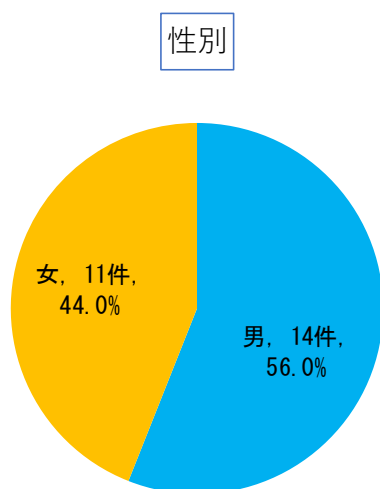
(単位:件、%)

項目	細項目	第5期		
		件数	構成割合	
預け入れ件数		25	100.0	
発見日時	曜日別	日曜	8	32.0
		月曜	3	12.0
		火曜	2	8.0
		水曜	3	12.0
		木曜	4	16.0
		金曜	3	12.0
		土曜	2	8.0
		計	25	100.0
	時間帯別	0～6時	3	12.0
		6～12時	7	28.0
		12～18時	7	28.0
		18～24時	8	32.0
		計	25	100.0

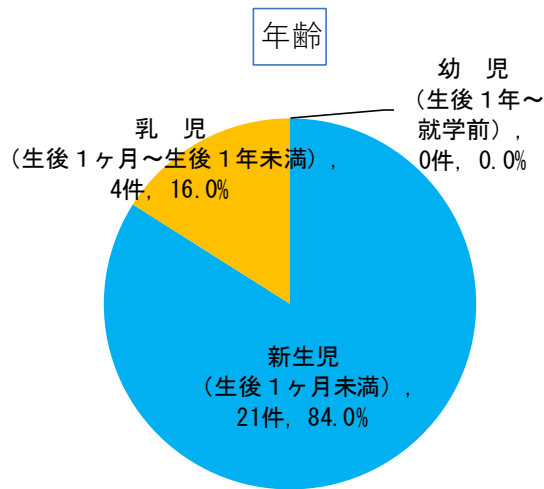
ウ 子どもの性別と年齢 (【図2-3】【図2-4】【表2-2】参照)

性別は、25件中、男児が14件(56.0%)、女児が11件(44.0%)となっている。
 年齢区分は、新生児21件(84.0%)、乳児4件(16.0%)、幼児0件(0%)であった。
 このうち、生後7日未満の早期新生児は18件(72.0%)で、出産から預け入れまでの期間が1日以内という事例が9件見られた。

【図2-3】



【図2-4】



【表2-2】

(単位:件)

項目	細項目	第5期	
		件数	構成割合
性別	男	14	56.0
	女	11	44.0
	計	25	100.0
年齢	新生児 (生後1ヶ月未満)	21	84.0
	※(うち早期新生児 (生後7日未満))	18	72.0
	乳児 (生後1ヶ月～生後1年未満)	4	16.0
	幼児 (生後1年～就学前)	0	0.0
	計	25	100.0

※第3期より「早期新生児(生後7日未満)」を追加

エ 子どもの健康状態と身体的虐待の有無（【図 2-5】【図 2-6】【表 2-3】参照）

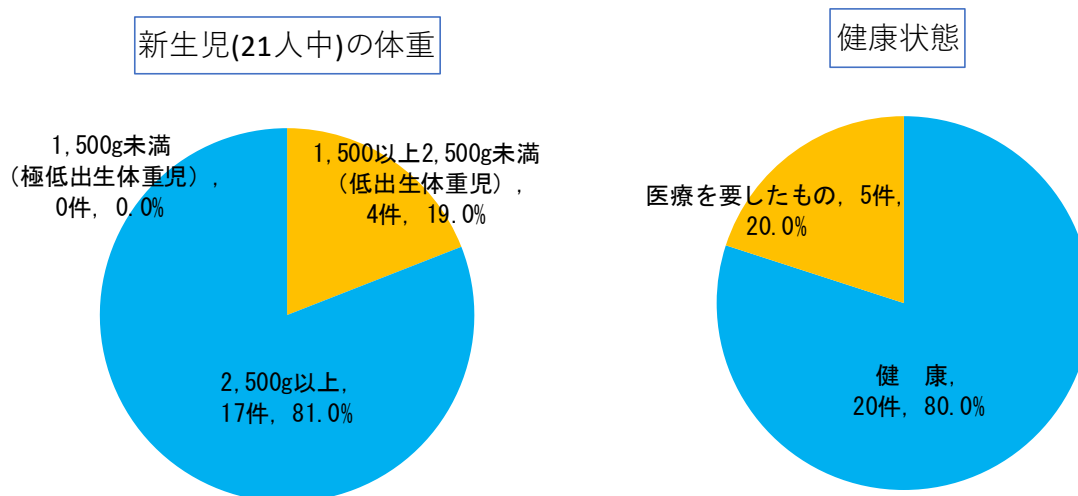
子ども（新生児）の体重は、2,500g 以上が17件（新生児全体に占める割合は81.0%）、1,500g 以上 2,500g 未満が4件（同19.0%）であった。第4期において、初めて1,500g 未満の極低出生体重児の預け入れがあったが、第5期では0件（0%）であった。

子どもの健康状態は、預け入れの際の医師による健康チェックの結果、異常のなかったものが20件（80.0%）、精密検査等何らかの医療行為を要するものが5件（20.0%）であった。

身体的虐待については、預け入れられた段階で子どもへの身体的な虐待の痕跡が確認できた事例はなかった。

【図 2-5】

【図 2-6】



【表2-3】

（単位：件、％）

項目	細項目	第5期	
		件数	構成割合
新生児の体重	1,500g未満 (極低出生体重児)	0	0.0
	1,500以上2,500g未満 (低出生体重児)	4	19.0
	2,500g以上	17	81.0
	計	21	100.0
健康状態	健康	20	80.0
	医療を要したもの	5	20.0
	計	25	100.0

オ 病院から「両親に宛てた手紙」の持ち帰り

病院から「両親に宛てた手紙」が持ち帰られていた事例が20件（80.0%）あった。

カ 遺留品

預け入れられた子どもの着衣以外の「物」が残されていた事例は、全25件のうち24件（96.0%）であった。このうち親からの手紙が7件（28.0%）あり、その他にはオムツ、バスタオル等があった。

キ 父母等からの事後接触（【表 2-4】参照）

預け入れ後、父母等からの事後接触があったものは25件中、11件（44.0%）であった。接触の時期については、当日から1月未満であった。

（単位：件、%）

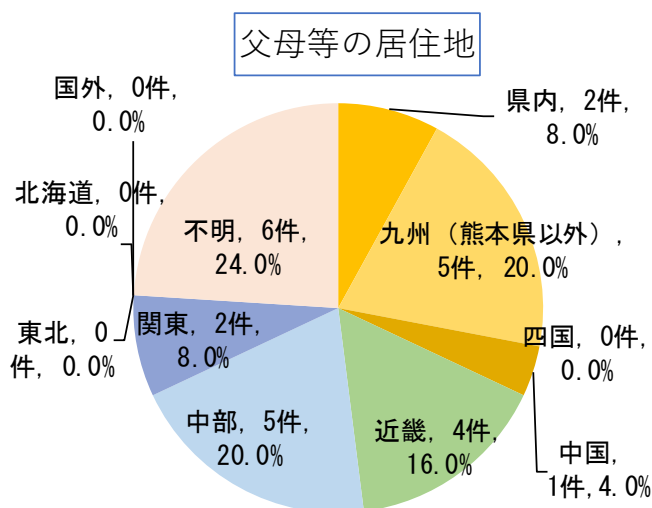
項目	細項目	第5期		
		件数	構成割合	
事後接触	接触の有無	11	44.0	
	接触の時期	父母等からの事後接触の有無	11	44.0
		当日	3	27.3
		2日目～1週間未満	4	36.4
		1週間以上～1月未満	4	36.4
		1月以上	0	0.0
計	11	100.0		

（2）家族等の状況

ア 父母等の居住地（【図 2-7】【表 2-5】参照）

子どもの父母等の居住地は、25件のうち19件（76.0%）判明している。その内訳は、熊本県内が2件（8.0%）、熊本県以外の九州地方が5件（20.0%）、中国地方が1件（4.0%）、近畿地方が4件（16.0%）、中部地方が5件（20.0%）、関東地方が2件（8.0%）、東北地方と北海道は0件（0%）、また国外から預け入れは0件（0%）であった。

【図 2-7】



【表2-5】

（単位：件、%）

項目	細項目	第5期	
		件数	構成割合
父母等の居住地	県内	2	8.0
	九州（熊本県以外）	5	20.0
	四国	0	0.0
	中国	1	4.0
	近畿	4	16.0
	中部	5	20.0
	関東	2	8.0
	東北	0	0.0
	北海道	0	0.0
	国外	0	0.0
	不明	6	24.0
計	25	100.0	

イ 母親の状況（【図 2-8】【図 2-9】【表 2-6】参照）

判明した母親の状況について、年齢は、10代1件（4.0%）、20代12件（48.0%）、30代6件（24.0%）、40代1件（4.0%）と10代から40代まで幅広い年代にわたっている。

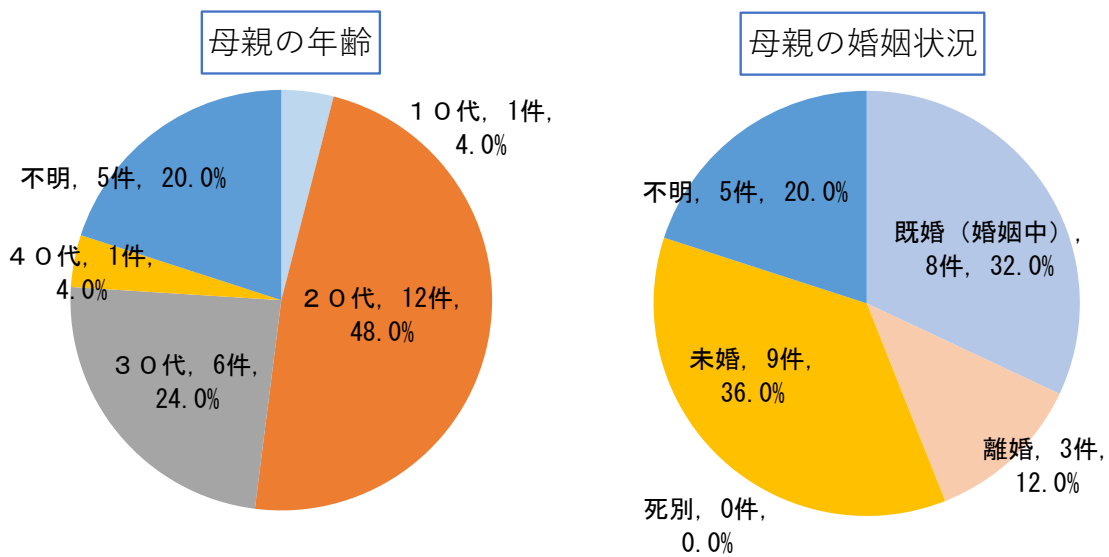
婚姻状況は、未婚が9件（36%）、既婚（婚姻中）が8件（32.0%）、離婚が3件（12.0%）であった。

なお、これは母親の婚姻状況であって、必ずしも子どもの実父との関係を示すものではない。

また、預け入れ者の身元が判明していない場合でも、細項目が判明していれば計上している（以降同様）。

【図 2-8】

【図 2-9】



【表2-6】

（単位：件、%）

項目	細項目	第5期	
		件数	構成割合
母親の年齢	10代	1	4.0
	20代	12	48.0
	30代	6	24.0
	40代	1	4.0
	不明	5	20.0
	計	25	100.0
母親の婚姻状況 ※第3期より「死別」を追加	既婚(婚姻中)	8	32.0
	離婚	3	12.0
	死別	0	0.0
	未婚	9	36.0
	不明	5	20.0
	計	25	100.0

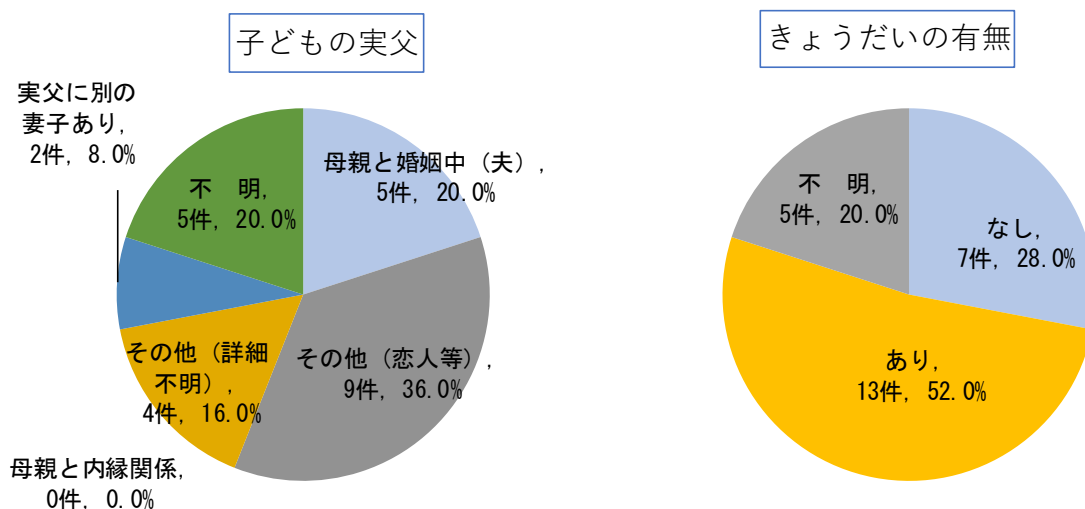
ウ 父親、きょうだいの状況（【図 2-10】【図 2-11】【表 2-7】参照）

判明した父親の状況について、その他（恋人等）が9件（36.0%）で最も多く、母親と婚姻中（夫）が5件（20.0%）、その他（詳細不明）が4件（16.0%）、実父に別の妻子ありが2件（8.0%）であった。

判明したきょうだいの状況について、預け入れられた子どもにきょうだいがいる事例が13件（52.0%）で、そのうち7件がきょうだい3人以上の事例であった。

【図 2-10】

【図 2-11】



【表2-7】

(単位:件、%)

項目	細項目	第5期	
		件数	構成割合
子どもの実父	母親と婚姻中(夫)	5	20.0
	母親と内縁関係	0	0.0
	その他(恋人等)	9	36.0
	その他(詳細不明)	4	16.0
	実父に別の妻子あり	2	8.0
	不明	5	20.0
	計	25	100.0
きょうだいの状況	なし	7	28.0
	あり	13	52.0
	(うち3人以上)	7	28.0
	不明	5	20.0
	計	25	100.0

(3) 預け入れの経緯

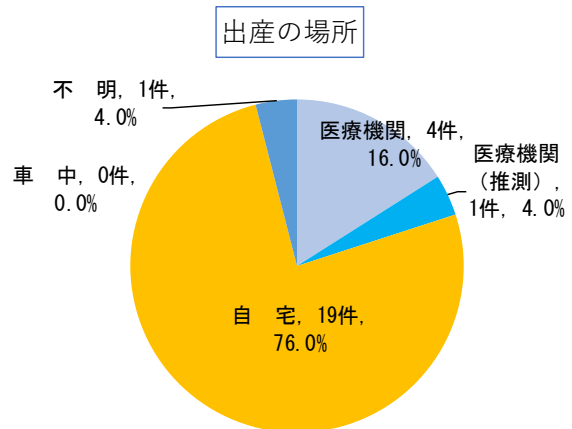
ア 出産の場所

(【図 2-12】【表 2-8】 参照)

25 件中、医療機関で出産した事例が 4 件 (16.0%)、自宅出産等 (孤立出産) 事例が 19 件 (76.0%) であった。

なお、預け入れ者と接触できず出産の状況が確認できない場合、子どもの臍の緒の処理状況及び採血跡等により医療機関か自宅分娩かを判断する。また、生後日数が経過し、これにより確認できない場合は、不明となる。

【図 2-12】



【表 2-8】

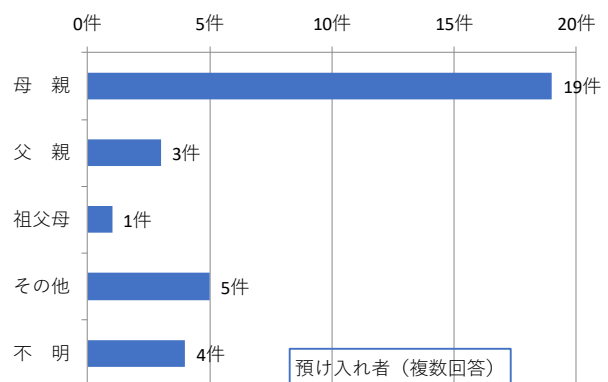
項目	細項目	第5期	
		件数	構成割合
出産の場所	医療機関	4	16.0
	医療機関(推測)	1	4.0
	自宅	19	76.0
	車中	0	0.0
	不明	1	4.0
	計	25	100.0

イ 子どもを預け入れに来た者 (【図 2-13】【表 2-9】 参照)

母親が預け入れに来た事例が 19 件 (76.0%) があった。なお、母親が一人で預け入れに来た事例 (きょうだい児を同伴した事例 4 件を含む) が 13 件、父母で預け入れに来た事例が 2 件、友人等と来た事例が 3 件あった。

祖父母が来た事例は 1 件 (4.0%) であった。

【図 2-13】



【表 2-9】

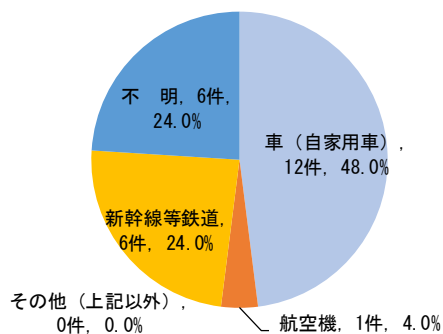
項目	細項目	第5期	
		件数	構成割合
預け入れに来た者 (複数回答)	母親	19	76.0
	父親	3	12.0
	祖父母	1	4.0
	その他	5	20.0
	不明	4	16.0
	計	32	—

ウ 主たる移動（交通）手段（【図 2-14】【表 2-10】参照）

ゆりかごまでの移動手段としては、第3期以前の検証同様、車（自家用車）が12件（48.0%）で最も多く、以降、新幹線等鉄道6件（24.0%）、航空機1件（4.0%）になっている。預け入れ者の居住地が遠い場合、公共交通機関の利用割合が高くなっている。

【図 2-14】

主たる移動（交通）手段



【表2-10】

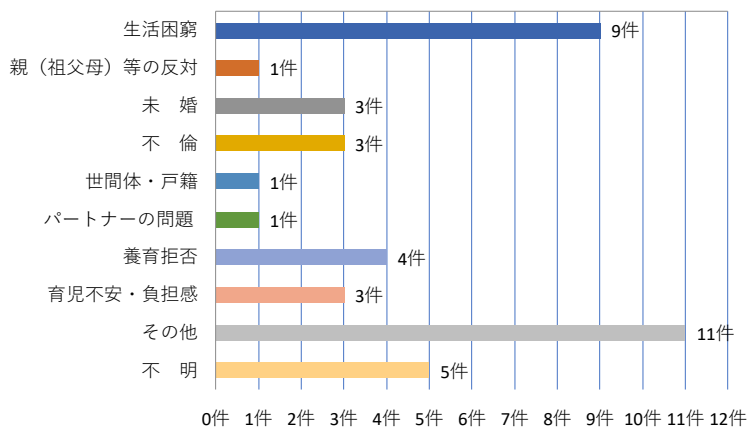
		（単位：件、%）	
		第5期	
項目	細項目	件数	構成割合
ゆりかごまでの 主たる移動 （交通）手段	車（自家用車）	12	48.0
	航空機	1	4.0
	新幹線等鉄道	6	24.0
	その他（上記以外）	0	0.0
	不明	6	24.0
	計	25	100.0

エ ゆりかごに預け入れた理由（複数回答。【図 2-15】【表 2-11】参照）

ゆりかごに預け入れた理由は、生活困窮 9 件（36.0%）、養育拒否 4 件（16.0%）、未婚、不倫、育児不安・負担感がそれぞれ 3 件（12.0%）、世間体・戸籍、パートナーの問題、親（祖父母）等の反対がそれぞれ 1 件（4.0%）となっている。

【図 2-15】

ゆりかごに預け入れた理由（複数回答）



【表2-11】

		（単位：件、%）	
		第5期	
項目	細項目	件数	構成割合
ゆりかごに 預け入れた理由 （第2期以降複数回答） （預け入れに来た者からの聞き取りなどを 基に分類）	生活困窮	9	36.0
	親（祖父母）等の反対	1	4.0
	未婚	3	12.0
	不倫	3	12.0
	世間体・戸籍	1	4.0
	パートナーの問題	1	4.0
	養育拒否	4	16.0
	育児不安・負担感	3	12.0
	その他	11	44.0
	不明	5	20.0
	計	41	—

2 ゆりかごの預け入れ状況の特徴

(1) 預け入れ時の状況

ア 預け入れられた子どもの人数（【表 2-12】参照）

第5期の預け入れは25件で、月平均預け入れ件数は、0.69であった。また、第1期から第4期は下表のとおりであり、第1期から見ると減少傾向である。なお、これまでを通しての月平均預け入れ件数は1.04件であった。

【表2-12】

項目	(単位:件)					
	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	合計
	件数	件数	件数	件数	件数	件数
預け入れ件数	51	30	20	29	25	155
月平均預け入れ件数	1.76	1.25	0.67	0.81	0.69	1.04

イ 預け入れ前の家族等への相談について

自宅出産等（孤立出産）の19件中、母親が一人で預け入れに来た事例（きょうだい児を同伴した事例4件を含む）が13件、さらに妊娠や出産の事実を誰にも話さないままに預け入れに至ったと思われる事例は4件であった。その中には、妊娠したことにすら同居の家族は気付かず、相談もできずに一人で自宅出産等（孤立出産）をしていた事例も見られる等、母親が一人で悩む状況が推察できた。

ウ 預け入れの理由について（【表 2-13】参照）

預け入れの理由について複数回答となった第2期以降、生活困窮の構成割合は、その他や不明を除くと最多であり、第5期では36.0%である。また、養育拒否が4件、未婚、不倫、育児不安・負担感がそれぞれ3件であり、第2期以降、一定の割合を占めて続けている。親（祖父母）等の反対を理由とする預け入れの割合は、第3期まで5%前後であり、第4期は20.7%と増加したが、第5期では4.0%であった。パートナーの問題は1件（4.0%）と減少した。

第5期ではその他の割合が44.0%と増加しており、その内訳は、実母の疾患、地元の行政機関との関係不良等であった。

【表2-13】

項目	細項目	第1期		第2期		第3期		第4期		第5期		合計		
		件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	
ゆりかごに預け入れた理由 (第2期以降複数回答) (預け入れに来た者からの聞き取りなどを基に分類)	生活困窮	7	13.7	9	30.0	6	30.0	12	41.4	9	36.0	43	27.7	
	親(祖父母)等の反対	1	2.0	2	6.7	1	5.0	6	20.7	1	4.0	11	7.1	
	未婚	3	5.9	9	30.0	6	30.0	9	31.0	3	12.0	30	19.4	
	不倫	5	9.8	4	13.3	4	20.0	4	13.8	3	12.0	20	12.9	
	世間体・戸籍	世間体	3	5.9	6	20.0	1	5.0	7	24.1	1	4.0	26	16.8
		戸籍 (に入れたくない)	8	15.7										
		パートナーの問題	2	3.9	6	20.0	4	20.0	10	34.5	1	4.0	23	14.8
		養育拒否	2	3.9	2	6.7	2	10.0	4	13.8	4	16.0	14	9.0
		育児不安・負担感					0	0.0	5	17.2	3	12.0	8	5.2
	その他	その他	4	7.8	5	16.7	1	5.0	3	10.3	11	44.0	26	16.8
		強姦	0	0.0										
		母親のうつ・精神障がい	1	2.0										
		友人の勧め	1	2.0										
		不明	14	27.5	4	13.3	8	40.0	7	24.1	5	20.0	38	24.5
		計	51	100.0	47	-	33	-	67	-	41	-	239	-

エ 乳幼児の預け入れ事例について（【表 2-14】 参照）

新生児の預け入れを想定した施設にもかかわらず、これまでに乳児 19 件（全体の 12.3%）の預け入れ事例があった。第 5 期では 4 件（16.0%）であった。

幼児についてはこれまでに 8 件（全体の 5.2%）の預け入れがあった。第 5 期では幼児の預け入れは 0 件であった。

【表2-14】

		第1期		第2期		第3期		第4期		第5期		合 計	
項目	細項目	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合
年 齢	新生児 (生後1ヶ月未満)	43	84.3	21	70.0	19	95.0	24	82.8	21	84.0	128	82.6
	※(うち早期新生児 (生後7日未満))	23	45.1	17	56.7	10	50.0	19	65.5	18	72.0	87	56.1
	乳 児 (生後1ヶ月～生後1年未 満)	6	11.8	5	16.7	1	5.0	3	10.3	4	16.0	19	12.3
	幼 児 (生後1年～就学前)	2	3.9	4	13.3	0	0.0	2	6.9	0	0.0	8	5.2
	計	51	100.0	30	100.0	20	100.0	29	100.0	25	100.0	155	100.0

オ 子どもの健康状態について（【表 2-15】 参照）

第 5 期で医療を要した子どもは、5 人であった。これらの事例では、低体温の事例がみられるが、この背景には、自宅出産等（孤立出産）や長距離移動、ゆりかごの扉の中に入れない預け入れが影響していると考えられる。

【表2-15】

		第1期		第2期		第3期		第4期		第5期		合 計	
項目	細項目	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合
健康状態	健 康	47	92.2	28	93.3	11	55.0	15	51.7	20	80.0	121	78.1
	医療を要したもの	4	7.8	2	6.7	9	45.0	14	48.3	5	20.0	34	21.9
	計	51	100.0	30	100.0	20	100.0	29	100.0	25	100.0	155	100.0

カ 障がいのある子どもの事例について（【表 2-16】 参照）

障がいがある子どもが預け入れられた事例が 3 件（12.0%）あった。このうち、少なくとも 2 件は医療機関において診断を受けていた事例であった。全体に占める障がいのある子どもの割合は、これまでとほぼ変わらない状況である。

【表2-16】

		第1期		第2期		第3期		第4期		第5期		合 計	
項 目		件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合
障がいのある子どもの預け入れ		5	9.8	3	10.0	3	15.0	3	10.3	3	12.0	17	11.0

（2）家族等の状況

ア 親の判明について（【表 2-17】 参照）

預け入れ状況の年度公表時点で親が判明したのは、第 1 期で 78.4%、第 2 期では、86.7%、第 3 期では 60.0%、第 4 期では 72.4%に対し、第 5 期では 80.0%で、判明の割合が上がっており、その場での預け入れ者との相談、あるいは、その後の社会調査や児童相談所間の連携により身元判明につながっているものの、第 1 期、第 2 期より低い状況である。

親が判明しない要因として、預け入れ者と接触できなかったこと、全国の児童相談所や

家族に知られたくないため身元を明かさない等が挙げられる。さらには、病院側があえて積極的に預け入れ者との接触を行わない方針をとっていたことも影響しているものと考えられる。

なお、専門部会は、病院に対し、子どもの出自を知る権利の確保のために、でき得る限り預け入れ者と接触を試みるよう求めている。

【表2-17】

(単位:件、%)

	第1期		第2期		第3期		第4期		第5期		合計	
	各年度等公表時点		各年度等公表時点		各年度等公表時点		各年度等公表時点		各年度等公表時点		件数 構成割合	
	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合		
身元判明	40	78.4	26	86.7	12	60.0	21	72.4	20	80.0	119	76.8
身元不明	11	21.6	4	13.3	8	40.0	8	27.6	5	20.0	36	23.2
合計	51	100.0	30	100.0	20	100.0	29	100.0	25	100.0	155	100.0

イ 子どもの父親、きょうだいについて (【表2-18】参照)

妻子がある父親の子どもを出産した事例、婚姻中に夫以外の者の子どもを出産した事例があった。

きょうだいについては、第1期において、きょうだい「あり」が47.1%、第2期以降、その割合はやや減少していたが、第5期では52.0%とこれまでの最多の割合となった。

【表2-18】

(単位:件、%)

項目	細項目	第1期		第2期		第3期		第4期		第5期		合計	
		件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合
子どもの実父	母親と婚姻中(夫)	7	13.7	9	30.0	0	0.0	6	20.7	5	20.0	27	17.4
	母親と内縁関係	4	7.8	1	3.3	1	5.0	1	3.4	0	0.0	7	4.5
	その他(恋人等)	12	23.5	7	23.3	4	20.0	8	27.6	9	36.0	40	25.8
	その他(詳細不明)	9	17.6	5	16.7	3	15.0	3	10.3	4	16.0	24	15.5
	実父に別の妻子あり	8	15.7	4	13.3	4	20.0	2	6.9	2	8.0	20	12.9
	不明	11	21.6	4	13.3	8	40.0	9	31.0	5	20.0	37	23.9
	計	51	100.0	30	100.0	20	100.0	29	100.0	25	100.0	155	100.0
きょうだいの状況	なし	16	31.4	14	46.7	5	25.0	9	31.0	7	28.0	51	32.9
	あり	24	47.1	12	40.0	7	35.0	13	44.8	13	52.0	69	44.5
	(うち3人以上)	8	15.7	8	26.7	7	35.0	10	34.5	7	28.0	40	25.8
	不明	11	21.6	4	13.3	8	40.0	7	24.1	5	20.0	35	22.6
	計	51	100.0	30	100.0	20	100.0	29	100.0	25	100.0	155	100.0

ウ その他

第1期、第2期では、父母共に日本に居住する外国人という事例が、第3期では、父親が日本に居住する外国人、第4期では父母共に国外に居住する外国人、第5期では父母共に外国人という事例があった。

(3) 預け入れの経緯

ア 自宅出産等(孤立出産)事例について (【表2-19】参照)

自宅出産等(孤立出産)の割合は、19件(76.0%)と高い割合を占めている。なお、第1期は16件(31.4%)、第2期は9件(30.0%)、第3期は12件(60.0%)、第4期は25件(86.2%)であった。

自宅出産等(孤立出産)の事例には、経済的な理由による未受診や、家族にも相談ができずに出産を迎えたものがあった。出産後の処置を自分で行き、臍の緒をハサミで切る等

の事例もあった。子どもが低体温の状態であるなど、新生児にとって非常に危険な状態が見られた事例もあった。

自宅出産等（孤立出産）事例（不明事例を除く）のほとんどが、妊婦健康診査未受診で、母子健康手帳の交付も受けていなかった。

また、あらかじめインターネットで調べてゆりかごに預けようと考え、自宅出産等（孤立出産）した事例が複数見られた。

【表2-19】

(単位:件、%)

項目	細項目	第1期		第2期		第3期		第4期		第5期		合計	
		件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合
出産の場所	医療機関	24	47.1	17	56.7	5	25.0	4	13.8	4	16.0	54	34.8
	医療機関(推測)	4	7.8	1	3.3	1	5.0	0	0.0	1	4.0	7	4.5
	自宅	15	29.4	8	26.7	12	60.0	23	79.3	19	76.0	77	49.7
	車中	1	2.0	1	3.3	0	0.0	2	6.9	0	0.0	4	2.6
	不明	7	13.7	3	10.0	2	10.0	0	0.0	1	4.0	13	8.4
	計	51	100.0	30	100.0	20	100.0	29	100.0	25	100.0	155	100.0

イ 遠距離の移動について

生後7日未満で預け入れに来た事例が第5期では18件(72.0%)あった。中には自宅で出産し、その日のうちに母親自身が遠距離を移動して預け入れに来る等、母子ともに危険な状態が懸念される事例が複数見られた。

(4) ゆりかごの預け入れ状況公表項目一覧

【表2-20】【表2-21】【表2-22】参照

ゆりかご預け入れに係る第1期（平成19年5月10日から平成21年9月30日まで）、第2期（平成21年10月1日から平成23年9月30日まで）、第3期（平成23年10月1日から平成26年3月31日まで）、第4期（平成26年4月1日から平成29年3月31日まで）、第5期（平成29年4月1日から令和2年3月31日まで）の状況は次のとおりである。

【表2-20】

(単位:件、%)

項目	細項目	第1期		第2期		第3期		第4期		第5期		合計		
		件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	
預け入れ件数		51	100.0	30	100.0	20	100.0	29	100.0	25	100.0	155	100.0	
発見日時	曜日別	日曜	8	15.7	4	13.3	3	15.0	8	27.6	8	32.0	31	20.0
		月曜	4	7.8	4	13.3	3	15.0	5	17.2	3	12.0	19	12.3
		火曜	7	13.7	2	6.7	1	5.0	1	3.4	2	8.0	13	8.4
		水曜	7	13.7	5	16.7	3	15.0	3	10.3	3	12.0	21	13.5
		木曜	10	19.6	4	13.3	0	0.0	5	17.2	4	16.0	23	14.8
		金曜	8	15.7	1	3.3	5	25.0	1	3.4	3	12.0	18	11.6
		土曜	7	13.7	10	33.3	5	25.0	6	20.7	2	8.0	30	19.4
	時間帯別	0～6時	8	15.7	6	20.0	3	15.0	3	10.3	3	12.0	23	14.8
		6～12時	6	11.8	2	6.7	3	15.0	3	10.3	7	28.0	21	13.5
		12～18時	17	33.3	12	40.0	9	45.0	7	24.1	7	28.0	52	33.5
18～24時		20	39.2	10	33.3	5	25.0	16	55.2	8	32.0	59	38.1	
性別	男	28	54.9	12	40.0	10	50.0	16	55.2	14	56.0	80	51.6	
	女	23	45.1	18	60.0	10	50.0	13	44.8	11	44.0	75	48.4	
年齢	新生児 (生後1ヶ月未満) ※(うち早期新生児 (生後7日未満))	43	84.3	21	70.0	19	95.0	24	82.8	21	84.0	128	82.6	
	乳児 (生後1ヶ月～生後1年未満)	21	41.2	17	56.7	10	50.0	19	65.5	18	72.0	85	54.8	
	幼児 (生後1年～就学前)	6	11.8	5	16.7	1	5.0	3	10.3	4	16.0	19	12.3	
	幼児 (生後1年～就学前)	2	3.9	4	13.3	0	0.0	2	6.9	0	0.0	8	5.2	
	※第3期より「早期新生児(生後7日未満)」を追加したため、第1期・第2期についても表示													
新生児の体重	1,500g未満 (超低出生体重児)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	4.2	0	0.0	1	0.8	
	1,500g以上2,500g未満 (低出生体重児)	7	16.3	1	4.8	3	15.8	6	25.0	4	19.0	21	16.4	
	2,500g以上	36	83.7	20	95.2	16	84.2	17	70.8	17	81.0	106	82.8	
健康状態	健康	47	92.2	28	93.3	11	55.0	15	51.7	20	80.0	121	78.1	
	医療を要したもの	4	7.8	2	6.7	9	45.0	14	48.3	5	20.0	34	21.9	
身体的虐待の疑い	虐待の疑いのあった件数	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
病院からの手紙の持ち帰り	手紙の持ち帰りの件数	36	70.6	23	76.7	18	90.0	22	75.9	20	80.0	119	76.8	
遺留物	有の件数	37	72.5	16	53.3	10	50.0	12	41.4	24	96.0	99	63.9	
	親の手紙	21	41.2	8	26.7	5	25.0	10	34.5	7	28.0	51	32.9	
戸籍	熊本市が戸籍を作成した件数	14	27.5	4	13.3	8	40.0	9	31.0	5	20.0	40	25.8	
事後接触	接触の有無	13	25.5	6	20.0	1	5.0	7	24.1	11	44.0	38	24.5	
	接触の時期	当日	3	23.1	3	50.0	0	0.0	3	42.9	3	27.3	12	31.6
		2日目～1週間未満	6	46.2	2	33.3	1	100.0	4	57.1	4	36.4	17	44.7
		1週間以上～1月未満	2	15.4	1	16.7	0	0.0	0	0.0	4	36.4	7	18.4
		1月以上	2	15.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	5.3

【表2-21】

(単位:件、%)

項目	細項目	第1期		第2期		第3期		第4期		第5期		合計	
		件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合
父母等の居住地 ※第4期より 「国外」を追加	県内	0	0.0	6	20.0	2	10.0	2	6.9	2	8.0	12	7.7
	九州(熊本県以外)	13	25.5	7	23.3	5	25.0	7	24.1	5	20.0	37	23.9
	四国	1	2.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.6
	中国	4	7.8	1	3.3	2	10.0	1	3.4	1	4.0	9	5.8
	近畿	4	7.8	4	13.3	1	5.0	1	3.4	4	16.0	14	9.0
	中部	7	13.7	1	3.3	0	0.0	3	10.3	5	20.0	16	10.3
	関東	11	21.6	7	23.3	1	5.0	3	10.3	2	8.0	24	15.5
	東北	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	10.3	0	0.0	3	1.9
	北海道	0	0.0	0	0.0	1	5.0	0	0.0	0	0.0	1	0.6
	国外							1	3.4	0	0.0	1	0.6
	不明	11	21.6	4	13.3	8	40.0	8	27.6	6	24.0	37	23.9
父母等引取り	父母等が引き取った件数	7	13.7	4	13.3	0	0.0	4	13.8	1	4.0	16	10.3
母親の年齢	10代	6	11.8	4	13.3	2	10.0	3	10.3	1	4.0	16	10.3
	20代	21	41.2	13	43.3	4	20.0	7	24.1	12	48.0	57	36.8
	30代	10	19.6	8	26.7	3	15.0	9	31.0	6	24.0	36	23.2
	40代	3	5.9	1	3.3	3	15.0	2	6.9	1	4.0	10	6.5
	不明	11	21.6	4	13.3	8	40.0	8	27.6	5	20.0	36	23.2
預け入れに来た者 (複数回答)	母親	38	74.5	22	73.3	12	60.0	21	72.4	19	76.0	112	72.3
	父親	10	19.6	6	20.0	2	10.0	8	27.6	3	12.0	29	18.7
	祖父母	12	23.5	5	16.7	1	5.0	0	0.0	1	4.0	19	12.3
	その他	12	23.5	5	16.7	3	15.0	7	24.1	5	20.0	32	20.6
	不明	6	11.8	4	13.3	8	40.0	7	24.1	4	16.0	29	18.7
出産の場所	医療機関	24	47.1	17	56.7	5	25.0	4	13.8	4	16.0	54	34.8
	医療機関(推測)	4	7.8	1	3.3	1	5.0	0	0.0	1	4.0	7	4.5
	自宅	15	29.4	8	26.7	12	60.0	23	79.3	19	76.0	77	49.7
	車中	1	2.0	1	3.3	0	0.0	2	6.9	0	0.0	4	2.6
	不明	7	13.7	3	10.0	2	10.0	0	0.0	1	4.0	13	8.4
母親の婚姻状況 ※第3期より 「死別」を追加	既婚(婚姻中)	10	19.6	12	40.0	3	15.0	9	31.0	8	32.0	42	27.1
	離婚	13	25.5	3	10.0	3	15.0	4	13.8	3	12.0	26	16.8
	死別					1	5.0	0	0.0	0	0.0	1	0.6
	未婚	17	33.3	11	36.7	5	25.0	9	31.0	9	36.0	51	32.9
	不明	11	21.6	4	13.3	8	40.0	7	24.1	5	20.0	35	22.6
ゆりかごまでの 主たる移動(交通)手段	車(自家用車)	21	41.2	13	43.3	9	45.0	11	37.9	12	48.0	66	42.6
	航空機	7	13.7	3	10.0	2	10.0	2	6.9	1	4.0	15	9.7
	新幹線等鉄道	15	29.4	9	30.0	2	10.0	6	20.7	6	24.0	38	24.5
	その他(上記以外)	0	0.0	0	0.0	2	10.0	1	3.4	0	0.0	3	1.9
	不明	8	15.7	5	16.7	5	25.0	9	31.0	6	24.0	33	21.3

【表2-22】

(単位:件、%)

項目	細項目	第1期		第2期		第3期		第4期		第5期		合計		
		件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	
家庭の状況	ひとり親家庭	11	21.6	2	6.7	4	20.0	7	24.1	10	40.0	34	21.9	
	婚姻世帯									7	28.0	7	4.5	
	その他	40	78.4	28	93.3	16	80.0	22	75.9	8	32.0	114	73.5	
きょうだいの状況	あり	24	47.1	12	40.0	7	35.0	13	44.8	13	52.0	69	44.5	
	(うち3人以上)	8	15.7	8	26.7	7	35.0	10	34.5	7	28.0	40	25.8	
	なし	16	31.4	14	46.7	5	25.0	9	31.0	7	28.0	51	32.9	
	不明	11	21.6	4	13.3	8	40.0	7	24.1	5	20.0	35	22.6	
子どもの実父	母親と婚姻中(夫)	7	13.7	9	30.0	0	0.0	6	20.7	5	20.0	27	17.4	
	母親と内縁関係	4	7.8	1	3.3	1	5.0	1	3.4	0	0.0	7	4.5	
	その他(恋人等)	12	23.5	7	23.3	4	20.0	8	27.6	9	36.0	40	25.8	
	その他(詳細不明)	9	17.6	5	16.7	3	15.0	3	10.3	4	16.0	24	15.5	
	実父に別の妻子あり	8	15.7	4	13.3	4	20.0	2	6.9	2	8.0	20	12.9	
	不明	11	21.6	4	13.3	8	40.0	9	31.0	5	20.0	37	23.9	
ゆりかごに 預け入れた理由 (第2期以降は複数回答) (預け入れに来た者からの 聞き取りなどを基に分類)	生活困窮	7	13.7	9	30.0	6	30.0	12	41.4	9	36.0	43	27.7	
	親(祖父母)等の反対	1	2.0	2	6.7	1	5.0	6	20.7	1	4.0	11	7.1	
	未婚	3	5.9	9	30.0	6	30.0	9	31.0	3	12.0	30	19.4	
	不倫	5	9.8	4	13.3	4	20.0	4	13.8	3	12.0	20	12.9	
	世間体・ 戸籍	世間体	3	5.9										
		戸籍 (に入れたくない)	8	15.7	6	20.0	1	5.0	7	24.1	1	4.0	26	16.8
	パートナーの問題	2	3.9	6	20.0	4	20.0	10	34.5	1	4.0	23	14.8	
	養育拒否	2	3.9	2	6.7	2	10.0	4	13.8	4	16.0	14	9.0	
	育児不安・負担感					0	0.0	5	17.2	3	12.0	8	5.2	
	その他	その他	4	7.8										
		強姦	0	0.0										
		母親のうつ・精神障がい	1	2.0	5	16.7	1	5.0	3	10.3	11	44.0	24	15.5
		友人の勧め	1	2.0										
不明	14	27.5	4	13.3	8	40.0	7	24.1	5	20.0	38	24.5		

※項目「ゆりかごに預け入れた理由」の細項目整理

第1期(県検証)で13細項目で公表。その後、下記のとおり、細項目整理及び計上方法の見直しを行い整理した。

第2期(13→9細項目)

- ・「世間体」「戸籍(に入れたくない)」⇒「世間体・戸籍」
- ・「強姦」「母親のうつ・精神障がい」「友人の勧め」⇒「その他」
- ・主たる理由ひとつの単数回答 ⇒ 当てはまる細項目を複数選ぶ複数回答

第3期(9→10細項目)

- ・追加 ⇒ 「育児不安・負担感」

※項目「出産の場所」の細項目整理

第3期において下記のとおり整理した。細項目数に変動はない。

- ・医療機関 → 病院、助産院等での出産
- ・医療機関(推測) → 子どもの状態から医療機関と推測されるもの
- ・自宅 → 医療機関以外で、車中を除く。
- ・車中 → 車中での出産
- ・不明 → 不明なもの

※項目「父母等の居住地」の細項目整理

第4期において下記のとおり整理した。(10→11細項目)・追加 ⇒ 「国外」

※項目「家庭の状況」の細項目整理

第5期において下記のとおり整理した。(2→3細項目)・追加 ⇒ 「婚姻世帯」

※第1期の数値は、県検証報告書で報告された数値を、平成22年3月31日現在で時点修正したもの。

3 預け入れられた子どものその後の養育状況（【図 2-16】【表 2-23】参照）

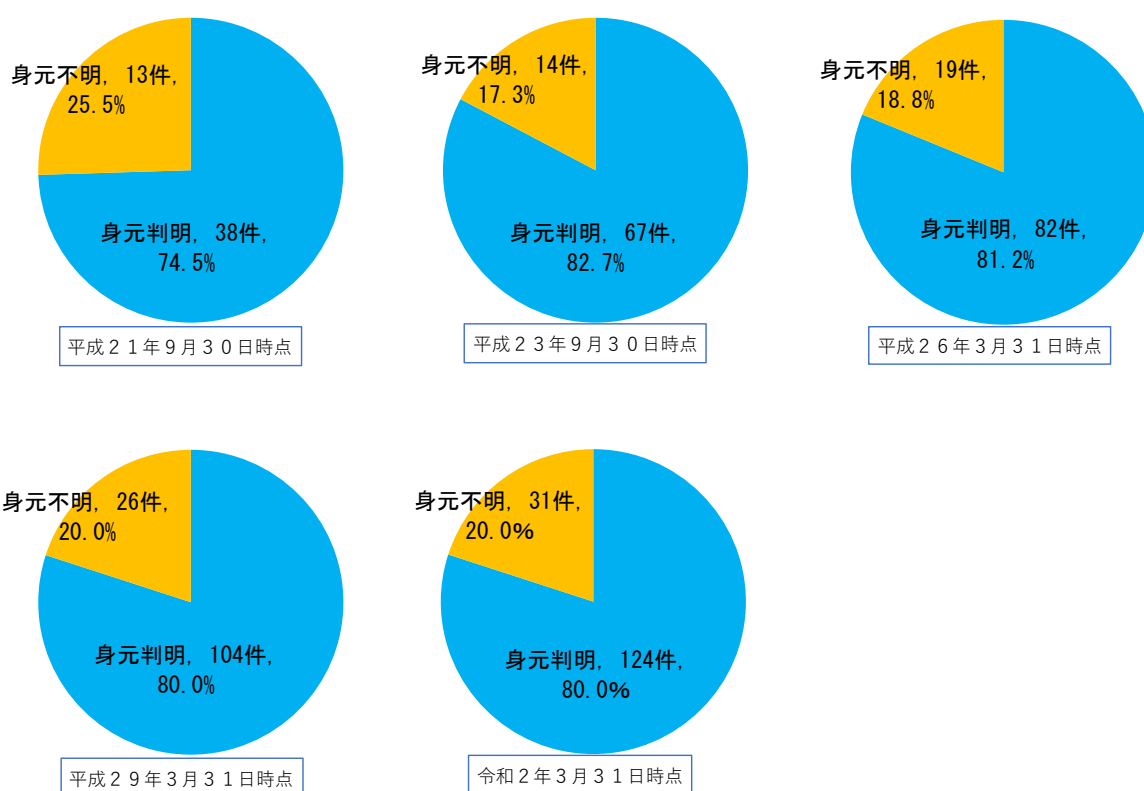
ゆりかごに預け入れられた後の子どもの養育状況について、平成 29 年 4 月 1 日から、令和 2 年 3 月 31 日までの間に預け入れがなされた全 155 事例の令和 2 年 3 月 31 日時点における状況を検証した。

155 件のうち、身元が判明した事例は 124 件で、判明した割合は 80.0%、身元が不明の事例は 31 件で割合は 20.0%となっている。

以下、身元判明及び身元不明の事例別に養育状況をみていく。

【図 2-16】

預け入れられた子どものその後の身元判明の状況



【身元判明・身元不明件数の年度ごと推移】

【表2-23】

(単位:件、%)

期	年度等	時点	平成21年9月30日時点		平成23年9月30日時点		平成26年3月31日時点		平成29年3月31日時点		令和2年3月31日時点		
			件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	
第1期	平成19年度	身元判明	10	58.8	11	64.7	11	64.7	11	64.7	11	64.7	
		身元不明	7	41.2	6	35.3	6	35.3	6	35.3	6	35.3	
		計	17	100.0	17	100.0	17	100.0	17	100.0	17	100.0	
	平成20年度	身元判明	22	88.0	22	88.0	22	88.0	22	88.0	22	88.0	
		身元不明	3	12.0	3	12.0	3	12.0	3	12.0	3	12.0	
		計	25	100.0	25	100.0	25	100.0	25	100.0	25	100.0	
	平成21年度前半	身元判明	6	66.7	8	88.9	9	100.0	9	100.0	9	100.0	
		身元不明	3	33.3	1	11.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
		計	9	100.0	9	100.0	9	100.0	9	100.0	9	100.0	
	第2期	平成21年度後半	身元判明			6	100.0	6	100.0	6	100.0	6	100.0
			身元不明			0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
			計			6	100.0	6	100.0	6	100.0	6	100.0
平成22年度		身元判明			15	83.3	16	88.9	16	88.9	16	88.9	
		身元不明			3	16.7	2	11.1	2	11.1	2	11.1	
		計			18	100.0	18	100.0	18	100.0	18	100.0	
平成23年度前半		身元判明			5	83.3	5	83.3	5	83.3	5	83.3	
		身元不明			1	16.7	1	16.7	1	16.7	1	16.7	
		計			6	100.0	6	100.0	6	100.0	6	100.0	
第3期		平成23年度後半	身元判明					2	100.0	2	100.0	2	100.0
			身元不明					0	0.0	0	0.0	0	0.0
			計					2	100.0	2	100.0	2	100.0
	平成24年度	身元判明					8	88.9	8	88.9	8	88.9	
		身元不明					1	11.1	1	11.1	1	11.1	
		計					9	100.0	9	100.0	9	100.0	
	平成25年度	身元判明					3	33.3	4	44.4	4	44.4	
		身元不明					6	66.7	5	55.6	5	55.6	
		計					9	100.0	9	100.0	9	100.0	
	第4期	平成26年度	身元判明							8	72.7	8	72.7
			身元不明							3	27.3	3	27.3
			計							11	100.0	11	100.0
平成27年度		身元判明							10	76.9	10	76.9	
		身元不明							3	23.1	3	23.1	
		計							13	100.0	13	100.0	
平成28年度		身元判明							3	60.0	3	60.0	
		身元不明							2	40.0	2	40.0	
		計							5	100.0	5	100.0	
第5期		平成29年度	身元判明								4	57.1	
			身元不明								3	42.9	
			計								7	100.0	
	平成30年度	身元判明									7	100.0	
		身元不明									0	0.0	
		計									7	100.0	
	令和元年度	身元判明									9	81.8	
		身元不明									2	18.2	
		計									11	100.0	
	合計	身元判明	38	74.5	67	82.7	82	81.2	104	80.0	124	80.0	
		身元不明	13	25.5	14	17.3	19	18.8	26	20.0	31	20.0	
		計	51	100.0	81	100.0	101	100.0	130	100	155	100	

(1) 身元が判明した事例 (【図 2-17】【表 2-24-1】【表 2-24-2】参照)

ア 判明事例における養育状況

身元が判明した事例においては、親の居住地の児童相談所にケース移管され、ケース移管を受けた親の居住地の児童相談所は、通常の要保護児童の場合の対応と同様に、社会調査等を行い、子どもの家庭環境を把握したうえで、子どもにとって最善の利益を第一に考え、援助を行っている。

身元が判明した 124 件のうち、令和 2 年 3 月 31 日時点においては、乳児院等施設で養育されているものが 26 件 (21.0%) (判明事例 124 件における割合、以下同じ)、里親のもとで養育されているものが 17 件 (13.7%)、家庭に引取られたものが 27 件 (21.8%) となっている。最も多いのは特別養子縁組が成立した事例で 50 件 (40.3%) である。

なお、現在里親のもとで養育されている事例のうち、特別養子縁組等を前提として里親

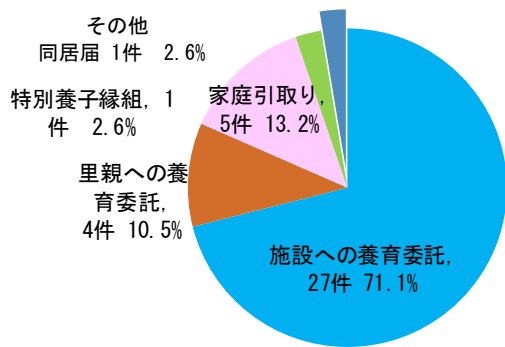
委託しているものも複数ある。

イ 養育状況の推移

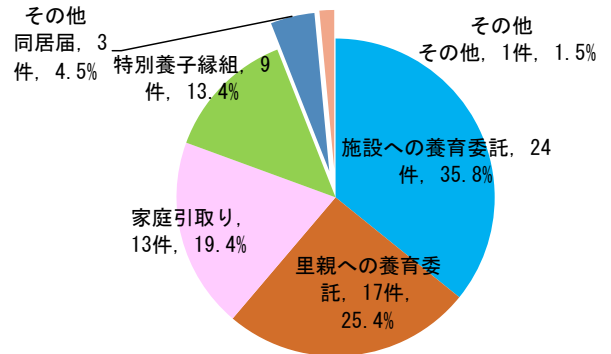
身元判明事例についてこれまでの養育状況を比較すると次のとおりとなる。

【図 2-17】

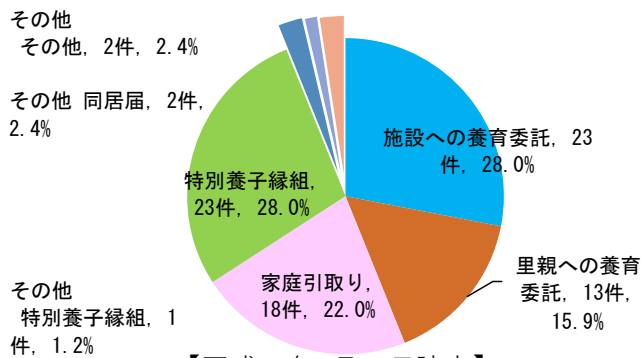
身元判明の事例における養育状況の推移



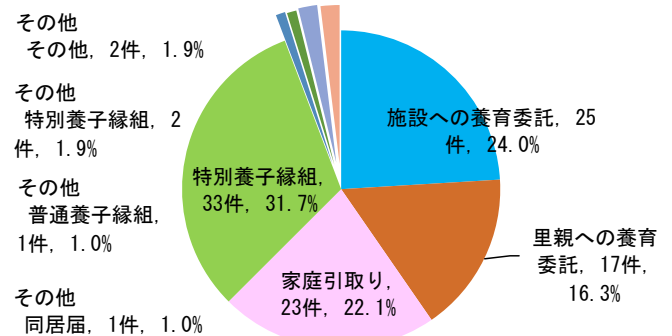
【平成21年9月30日時点】



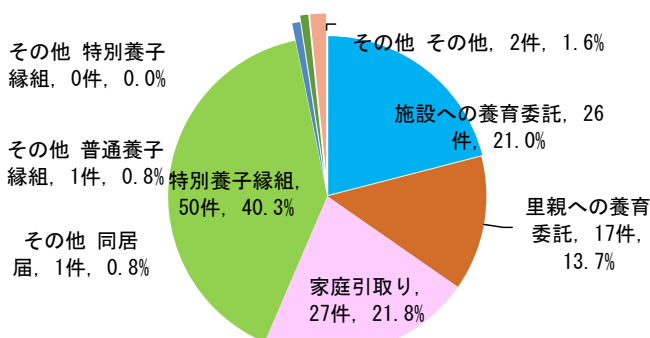
【平成23年9月30日時点】



【平成26年3月31日時点】



【平成29年3月31日時点】



【令和2年3月31日時点】

乳児院等施設へ養育委託されているものについては、第1期で71.1%であったものが、第2期以降は徐々に減少し、第5期は21.1%となっている。これは、乳児院等の施設で養育されていた子どもについて、主に里親への養育委託へ移行が進んだためである。

特別養子縁組が成立した事例は第1期で1件(2.6%)であったものが、第2期以降に徐々に増加し、第5期は50件(40.3%)となっている。これらの事例のほとんどは、児

童相談所による特別養子縁組を前提とした里親委託を経ている。

家庭引取りに繋がった事例は、第2期以降は全体の20%前後で推移している。身元が判明した事例のうち、約80%は実親以外による養育が行われていることになる。

なお、家庭引取りとなった主な経緯は、次のとおりである。

- ・ 夫以外の男性との子どもであったが、児童相談所等と相談し、戸籍の問題などを解決しながら家庭引取りとなった。
- ・ 妊娠・出産をだれにも相談しておらず、預け入れ時から養育できるかどうか悩んでいたが、親族などの支援を受けながら家庭において養育することとなった。

但し、第3期までには、家庭引取りとなったものの数年後に、母親による無理心中により母子が死亡した事例があった。また、第4期には、保護者が子どもの多動性・衝動性の受容が難しく、子どもに手を上げる状況が出現し再措置となった事例や、きょうだい全員がネグレクト状態となり、同意の上施設入所になった事例があったことから、家庭引取りについては慎重な対応が求められるところである。

各期の養育状況については、次頁の表に示すとおりである。

(2) 身元不明の事例（【図 2-18】【表 2-25】 参照）

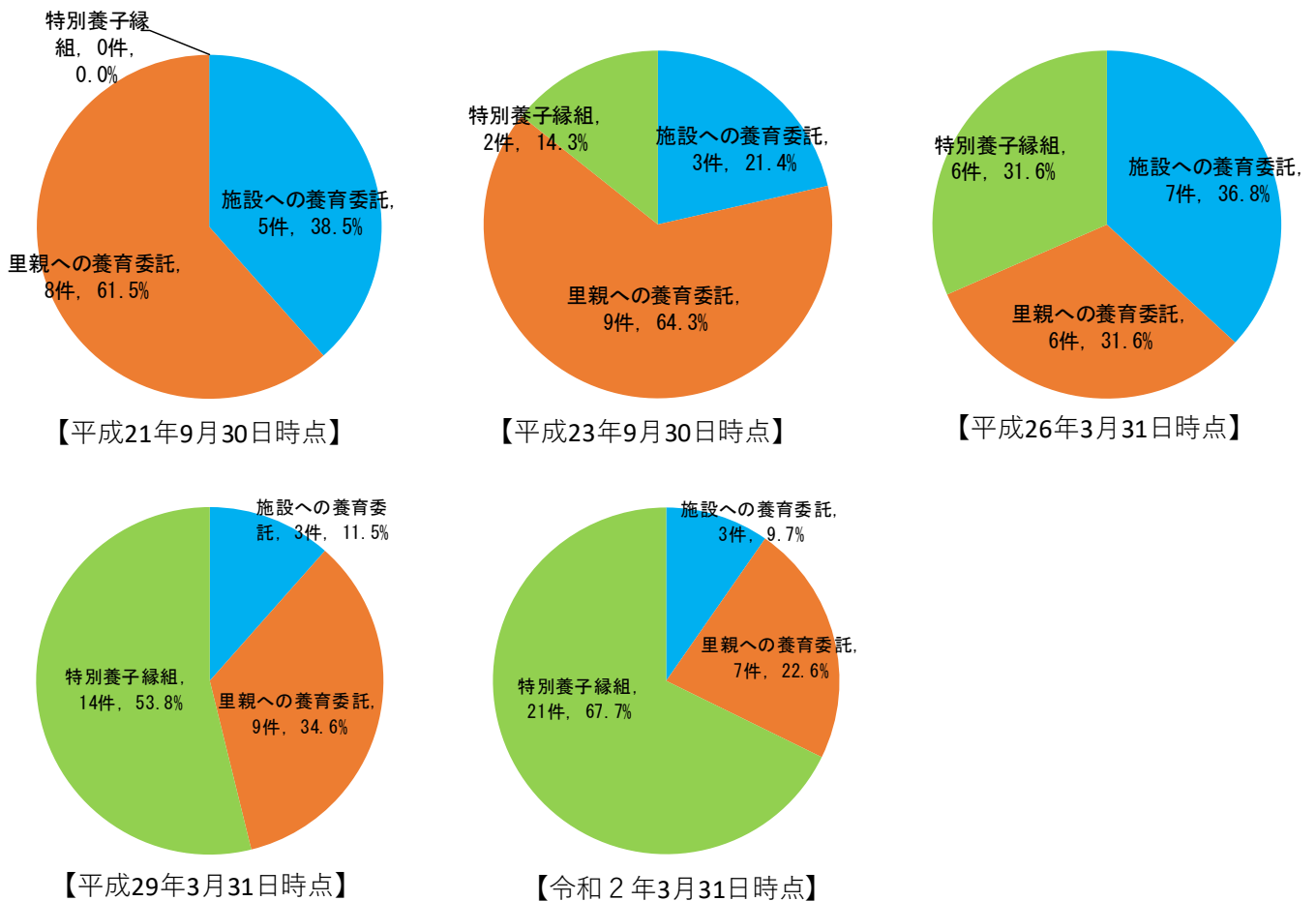
ア 不明事例における養育状況

身元が判明していない31件については、令和2年3月31日時点で乳児院等施設へ養育委託されているものが3件（9.7%）、里親への養育委託が7件（22.6%）、また特別養子縁組が成立した事例が21件（67.7%）となっている。

イ 養育状況の推移

身元が判明していない事例について、養育状況を比較すると次のとおりとなる。

【図 2-18】 身元不明の事例における養育状況の推移



まず、乳児院等施設へ養育委託されているものは、平成21年9月30日時点で5件（38.5%）、平成29年3月31日時点で3件（11.5%）、令和2年3月31日現在では3件（9.7%）と全体に占める割合は減少傾向にある。身元判明の事例の状況と同じように、施設で養育委託されていた子どもが里親委託へ移行している。また、その里親委託から、特別養子縁組の成立へと繋がっている事例や、特別養子縁組に向けて手続きを進めているものが複数ある。

特別養子縁組が成立した事例は、平成21年9月30日現在において見られなかったが、平成23年9月30日現在では2件（14.3%）、平成26年3月31日現在では6件（31.6%）、平成29年3月31日現在では14件（53.8%）、令和2年3月31日現在では21件（67.7%）と増加している。各期の養育状況については、次頁の表に示すとおりとなる。

【身元不明事例における子どもの養育状況別推移】

【表2-25】 ①は平成21年9月30日時点、②は平成23年9月30日時点、③は平成26年3月31日時点 ④は平成29年3月31日時点 を指す。

子どもの養育状況	時点	19年度		20年度		21年度		22年度		23年度		24年度		25年度		26年度		27年度		28年度		29年度		30年度		R1年度		全体			
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合		
乳児院等施設への養育委託	①	1	14.3	1	33.3	3	100.0																						5	38.5	
	②	0	0.0	1	33.3	0	0.0	1	33.3	1	100.0																			3	21.4
	③	0	0.0	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6	100.0															7	36.8
	④	0	0.0	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0							3	11.5
	⑤	0	0.0	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	9.7
里親への養育委託	①	6	85.7	2	66.7	0	0.0																						8	61.5	
	②	5	83.3	1	33.3	1	100.0	2	66.7	0	0.0																			9	64.3
	③	4	66.7	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0															6	31.6
	④	3	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	1	20.0	0	0.0	3	100.0	1	50.0									9	34.8
	⑤	3	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	1	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	100.0	7	22.6
特別養子縁組の成立	①	0	0.0	0	0.0	0	0.0																						0	0.0	
	②	1	16.7	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0																		2	14.3	
	③	2	33.3	2	66.7	0	0.0	1	50.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0														6	31.6	
	④	3	50.0	2	66.7	0	0.0	2	100.0	1	100.0	0	0.0	3	60.0	3	100.0	0	0.0	0	0.0								14	53.8	
	⑤	3	50.0	2	66.7	0	0.0	2	100.0	1	100.0	0	0.0	3	60.0	3	100.0	3	100.0	1	50.0	3	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	21	67.7
小計	①	7	100.0	3	100.0	3	100.0																						13	100.0	
	②	6	100.0	3	100.0	1	100.0	3	100.0	1	100.0																		14	100.0	
	③	6	100.0	3	100.0	0	0.0	2	100.0	1	100.0	1	100.0	6	100.0														19	100.0	
	④	6	100.0	3	100.0	0	0.0	2	100.0	1	100.0	1	100.0	5	100.0	3	100.0	3	100.0	2	100.0								26	100.0	
	⑤	6	100.0	3	100.0	0	0.0	2	100.0	1	100.0	1	100.0	5	100.0	3	100.0	3	100.0	2	100.0	3	100.0	0	0.0	2	100.0	31	100.0		

【図 2-27】

※表中の人数は、身元の調査中の児童は含まないため、年度の預け入れ数と合計が一致しないことがある。

預け入れ後の身元の判明・不明、養育状況の推移

単位：人

		身元	養育状況	H 21.9時点		H 23.9時点		H 26.3時点		H 29.3時点		R 2.3時点		
平成 19 年度	17	判明	施設入所措置		6		5		3		4		4	
			里親委託		2		3		4		2		2	
			特別養子縁組	10	0	11	1	11	2	11	3	11	3	
			家庭引取り		1		0		0		0		0	
			その他		1		2		2		2		2	
		不明	施設入所措置		1		0		0		0		0	
			里親委託	7	6	6	5	6	4	6	3	6	3	
			特別養子縁組		0		1		2		3		3	
						17		17		17		17		17
		平成 20 年度	25	判明	施設入所措置		16		5		4		4	
里親委託					2		8		4		3		3	
特別養子縁組	22				1	22	4	22	9	22	10	22	10	
家庭引取り					3		5		5		5		5	
その他					0		0		0		0		0	
不明	施設入所措置				1		1		1		1		1	
	里親委託			3	2	3	1	3	0	3	0	3	0	
	特別養子縁組				0		1		2		2		2	
						25		25		25		25		25
平成 21 年度	15			判明	施設入所措置		5		4		2		2	
		里親委託			0		2		4		1		1	
		特別養子縁組	6		0	14	4	15	5	15	8	15	8	
		家庭引取り			1		3		3		3		3	
		その他			0		1		1		1		1	
		不明	施設入所措置		3		0		0		0		0	
			里親委託	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	
			特別養子縁組		0		0		0		0		0	
						9		15		15		15		15
		平成 22 年度	18	判明	施設入所措置		-		6		4		4	
里親委託					-		4		0		1		1	
特別養子縁組	-				-	15	0	16	5	16	5	16	6	
家庭引取り					-		4		5		4		4	
その他					-		1		2		2		1	
不明	施設入所措置				-		1		0		0		0	
	里親委託			-	-	3	2	2	1	2	0	2	0	
	特別養子縁組				-		0		1		2		2	
							18		18		18		18	
平成 23 年度	8			判明	施設入所措置		-		4		3		1	
		里親委託			-		0		0		2		1	
		特別養子縁組	-		-	5	0	7	1	7	1	7	2	
		家庭引取り			-		1		3		3		4	
		その他			-		0		0		0		0	
		不明	施設入所措置		-		1		0		0		0	
			里親委託	-	-	1	0	1	0	1	0	1	0	
			特別養子縁組		-		0		1		1		1	
							6		8		8		8	

		身元	養育状況	H21.9時点	H23.9時点	H26.3時点	H29.3時点	R2.3時点
平成 24 年度	9	判 明	施設入所措置	-	-	4	2	2
			里親委託	-	-	1	1	0
			特別養子縁組	-	-	8	3	4
			家庭引取り	-	-	2	2	2
			その他	-	-	0	0	0
	不明	施設入所措置	-	-	0	0	0	
		里親委託	-	-	1	1	1	
		特別養子縁組	-	-	0	0	0	
					9	9	9	
	平成 25 年度	9	判 明	施設入所措置	-	-	3	1
里親委託				-	-	0	2	0
特別養子縁組				-	-	3	1	4
家庭引取り				-	-	0	0	0
その他				-	-	0	0	0
不明		施設入所措置	-	-	6	1	1	
		里親委託	-	-	0	1	1	
		特別養子縁組	-	-	0	3	3	
					9	9	9	
平成 26 年度		11	判 明	施設入所措置	-	-	-	3
	里親委託			-	-	-	1	1
	特別養子縁組			-	-	-	1	2
	家庭引取り			-	-	-	3	3
	その他			-	-	-	0	0
	不明	施設入所措置	-	-	-	0	0	
		里親委託	-	-	-	0	0	
		特別養子縁組	-	-	-	3	3	
						11	11	
	平成 27 年度	13	判 明	施設入所措置	-	-	-	1
里親委託				-	-	-	4	2
特別養子縁組				-	-	-	1	4
家庭引取り				-	-	-	3	3
その他				-	-	-	1	1
不明		施設入所措置	-	-	-	0	0	
		里親委託	-	-	-	3	0	
		特別養子縁組	-	-	-	0	3	
						13	13	
平成 28 年度		5	判 明	施設入所措置	-	-	-	3
	里親委託			-	-	-	0	2
	特別養子縁組			-	-	-	0	1
	家庭引取り			-	-	-	0	0
	その他			-	-	-	0	0
	不明	施設入所措置	-	-	-	1	1	
		里親委託	-	-	-	1	0	
		特別養子縁組	-	-	-	0	1	
						5	5	

		身元	養育状況	H 21.9時点	H 23.9時点	H 26.3時点	H 29.3時点	R 2.3時点		
平成 29 年度	7	判明	施設入所措置	-	-	-	-	4	0	
			里親委託	-	-	-	-		0	
			特別養子縁組	-	-	-	-		3	
			家庭引取り	-	-	-	-		1	
			その他	-	-	-	-		0	
		不明	施設入所措置	-	-	-	-	3	0	
			里親委託	-	-	-	-		0	
			特別養子縁組	-	-	-	-		3	
									-	7
		平成 30 年度	7	判明	施設入所措置	-	-	-	-	7
里親委託	-				-	-	-	1		
特別養子縁組	-				-	-	-	2		
家庭引取り	-				-	-	-	1		
その他	-				-	-	-	0		
不明	施設入所措置			-	-	-	-	0	0	
	里親委託			-	-	-	-		0	
	特別養子縁組			-	-	-	-		0	
									-	7
令和 元 年度	11			判明	施設入所措置	-	-	-	-	9
		里親委託	-		-	-	-	5		
		特別養子縁組	-		-	-	-	0		
		家庭引取り	-		-	-	-	0		
		その他	-		-	-	-	0		
		不明	施設入所措置	-	-	-	-	2	1	
			里親委託	-	-	-	-		1	
			特別養子縁組	-	-	-	-		0	
									-	11
			155			51	81	101	130	155